

日本英学史学会 中国・四国支部

ニューズレター

No.58

Historical Society of English Studies in Japan, Chugoku-Shikoku Chapter

<エッセイ>

森 修一研究と妹尾啓司文庫

馬本 勉

ここ数年、庄原出身の森 修一氏のことを追いつけている。ニューナショナルリーダーの第1巻から第3巻までの独案内と、ロングマンインファントの独案内を著した人物であり、明治17年から約8年間存立した庄原英学校に関わったとされる。

手元の記録によると、私は2003年の夏、ある古書店で『正則ニューナショナル第二リード独案内』を購入している。庄原の大学に勤務するようになって2年目のことだ。手にした版は、明治29年に出た第18版。初版の出た明治19年から10年を経て、版を重ねていたことが分かる。奥付に記された著者・森 修一の住所は「広島県三上郡庄原村」。この表記と発行年から、英学校にゆかりの人物であることを直感した。ただ、森 修一に言及した研究は、わずかに寺田芳徳先生の著書があるのみだ。

森 修一氏についてもっと知りたいと思い、私は庄原の歴史を調べるとともに、彼の著した独案内を集め始めた。古書店から入手できるのは、年に1冊あるかないかといった程度だ（現在個人で所有しているのは、『第一リード独案内』2点、『第二』1点、『第三』2点の計5点）。全国の図書館でも探しているが、現時点で分かっているのは、僅かに国立国会図書館と大学図書館数館のみだ。それらの所蔵館にお願いし、可能な範囲で複写も集めているが、古い書物なので、貸出や複写が叶わないこともある。そんな中、全ページを複写して送ってくれる大学図書館があり、感激した。

送ってもらったのは『第二リード独案内』の初版。巻末には正誤表が掲載してある（正誤表が確認できたのはこの一点のみだ）。前書きには、まず正誤表によって読者自らが本文を添削するよう指示がある。9ページにおよぶ正誤表には、発音、スペリング、語義など百数十箇所の修正が記されている。門生の手になつた記述を、森 修一が校正したものだという。版を重ねる中で、該当箇所は少しずつ修正されていった模様だ。例えば手元の『第二リード独案内』18版と、初版のコピーとを比べると、正誤表に記された通りに直してある箇所がある（直されていない所もある）ならば他の版も見なくては、とっていたところ、すぐ目の前で見つかった。「妹尾啓司文庫」だ。

昨年末から、英語教科書や参考書類を中心とした「妹尾啓司文庫」（第一期分。目録は『英学史論叢』第9号に所収）を研究室で保管している。そこに『第二リード独案内』第28版（明治32年）があった。妹尾啓司文庫の有り難さを実感した瞬間だ。私はこの文庫によって、また一歩、研究を先に進めることができる。

明治期の英学書の多くが、国立国会図書館の「近代デジタルライブラリー」を通じ、ネット上で閲覧できるようになった。しかし、そこに所蔵されていない版の情報は手に入らない。現物を手にする調査が大切な所以だ。故妹尾啓司先生に改めて感謝するとともに、これを機に、地域の小さな「文庫」のネットワーク作りについて、考えていきたいと思う。

（日本英学史学会 中国・四国支部 事務局長）

平成21年度 日本英学史学会 中国・四国支部 総会

第1回 (通算60回) 研究例会のご案内

拝啓 新緑の候、会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より当支部の発展のために温かいご支援とご協力をいただき心から感謝申し上げます。

さて、平成21年度支部総会、及び第1回(通算第60回)支部研究例会を下記の要領で開催いたします。開催準備にあたりましては、理事の松岡博信先生に格別のご配慮を賜りました。篤くお礼申し上げます。

今回の研究例会では、田中正道先生による研究発表、ならびに通算60回の例会開催を記念するシンポジウムが予定されています。皆様ぜひお誘いあわせの上、ご参集くださいますようご案内申し上げます。

末筆ながら、会員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

敬具

日本英学史学会 中国・四国支部

日時： 2009年5月30日(土) 12:50 受付開始

会場： 安田女子大学 9号館 9522 教室(5階)

〒731-0153 広島県広島市安佐南区安東 6-13-1

TEL 082-878-8111 (代)

参加費： 会員、非会員とも無料

支部総会 (13:20~13:50)

議長選出、前年度活動報告、会計報告、会計監査報告、平成21~22年度役員選出、新年度活動計画、他

開会行事 (14:00~14:10)

支部長挨拶

研究発表 (14:10~15:10)

「月刊雑誌『上級英語』を読む」

田中正道 (兵庫教育大学名誉教授・広島大学名誉教授)

休憩 (15:10~15:20)

シンポジウム (15:20~17:10)

「新学習指導要領と日本の英語教育：英学史からの提言」

コーディネータ 馬本 勉 (県立広島大学)

1. 「明治期の英語教育から」竹中龍範 (香川大学)
2. 「パーマーの時代から」小篠敏明 (福山平成大学)
3. 「戦後の英語教育から」三浦省五 (福山大学)
4. 「第二言語習得研究の歴史から」松岡博信 (安田女子大学)

感想記入 (17:10~17:15)

閉会行事 (17:15~17:30)

副支部長挨拶、写真撮影

懇親会 (18:00~20:00)

とり楽 毘沙門店 (広島市安佐南区大町東 4-10-28 TEL 082-879-3166 <http://r.gnavi.co.jp/y044100/>)
アストラムライン「毘沙門台駅」(安田女子大前の「安東駅」から広島市内中心部へ向って1駅)すぐ

会費 3,000円

研究例会会場への交通案内 (以下、安田女子大学ホームページ <http://www.yasuda-u.ac.jp/>より)



アストラムライン「安東駅」からキャンパスまで専用エスカレーターをご利用ください。



会場の9号館は、22番の一番新しい校舎です。アストラムライン安東駅からの専用エスカレータ(23番)を降りて、左手にお進みください。

中国・四国支部ニュース

>> 事務局よりお知らせとお願い

名簿の改訂について

「会員登録内容の確認について」を同封していません。変更のある方は5月20日(水)までにお知らせください。

メールアドレスをお持ちの方には、ニューズレターほかウェブ上の情報を電子メールでお届けしています。インターネットをご利用の方は、ぜひ別紙にメールアドレスをご記入ください。

また、総会・例会・懇親会(5月30日)のご出欠についてもご回答をお願いいたします。

会費の納入について

5月30日(土)の研究例会へご参加の方は、平成21年度年会費(一般3,000円、学生2,000円)を受付でお支払いください。その際に『英学史論叢』第12号、および今年度の名簿をお渡しする予定です。

例会に参加されない方へは、例会終了後、今年度の紀要、名簿とともに、年会費用の振込み用紙をお送りします。

なお、これまでに会費未納の年度がある方へは、複数年分をご請求申し上げ、ご納入いただいた時点で今年度の紀要と名簿をお送りいたします。

紀要掲載料について

『英学史論叢』第12号の「研究論考」および「研究ノート」の執筆者の方は、5月30日(土)の研究例会受付にて掲載料をお支払いください。規定の10ページまでは3,000円、超過分は1ページ当たり1,000円をお願いします。

研究発表者を募集します

今年度第2回研究例会は、12月12日(土)岡山県高梁市にて開催を予定しています。研究発表(口頭発表30分・質疑応答20分・計50分)をご希望の方は、9月末までに事務局へご連絡ください。

なお、研究発表のお申込は随時受け付けていますので、次年度以降を含め、ご希望の方は事務局までお知らせください。

>> 会員異動(退会・敬称略)

宮田 和子

英学史学会全国ニュース

>> 「日本英学史学会報」No.118 (5月1日付)

史に聴けば 地方の英学 漫画になるグリフィス
英学史散策 アイヴァン・モリス研究
英学史手帖 英語青年の休刊に触れて
支部活動報告 ほか

「日本英学史学会報」No.117には、支部活動報告として、中国・四国支部平成20年度第2回(通算59回)研究例会の報告が掲載されています。

>> 第46回全国大会

平成21年度の日本英学史学会全国大会は、10月10日(土)~12日(月)明治学院大学白金キャンパス(東京都港区白金台)を会場に開催されます。

日本英学史学会(本部)の会員登録には、中国・四国支部とは別に手続きが必要です(入会金2,000円、年会費5,000円)。問い合わせは事務局まで。

英学史情報ひろば

『能海寛著作集』第13巻「英文日記と機関誌(智恵と慈悲)など」(2009年、USS出版)

能海寛研究会副会長・岡崎秀紀先生よりご寄贈いただきました。能海の遺した手書きの英文(日記・機関誌)の写真と、詳細な解説。明治中期の英学を知る大変貴重な資料。閲覧希望は事務局まで。

広島英学史の周辺(24) 編集子の最近の関心事について、今回は冒頭のエッセイで紹介しています。鯉のぼりの季節。新球場で活躍するカーブを肴に(?)、今宵も英学史研究に熱が入ります。5月30日、総会・例会で皆様とお会いできるのを楽しみにしています。(馬)

日本英学史学会 中国・四国支部ニューズレター No.58

2009年4月30日発行

発行 日本英学史学会中国・四国支部(代表 竹中龍範)

事務局 〒727-0023 広島県庄原市七塚町562

県立広島大学 馬本研究室内

電話&FAX: (0824) 74 - 1725 (直通)

e-mail: umamoto@pu-hiroshima.ac.jp

ホームページ <http://tom.edisc.jp/eigaku/>

郵便振替口座 01360-9-43877 日本英学史学会中国・四国支部

Newsletter No.58